リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	東　彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期･後期･通年の別	必修･選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学Ⅱ	2	後期	必修	はい	73

2. 観点･DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に○	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	①本講義は、本学の建学の精神である「感恩奉仕」の精神習得の出口の部分を担っているため、キリスト教学Ｉの聖書の学びから発展させ、幅の広い教養を身につけるため、多岐に渡る内容のキリスト教芸術と文学に触れ、視野を広げる授業展開を行った。また、授業以外のチャペルの参加や、教会訪問なども評価に取り入れ、授業外でキリスト教に触れる体験の機会を設けた。 ②昨年度からの改善としては、毎回の授業中、ポートフォリオでの学びの確認だけでなく、Bible Note作成を導入し、出席率でしか評価できなかったチャペルでの体験的な学びが、毎回のチャペルのコメントをノートに張りつけ、見直すことができるようになった。また、このBible Noteには、授業外で聖書を読んだ時のコメントなども記入できるようにし、予習・復習に取り組みやすい工夫をした。 ③昨年から開始したグループ発表の機会は、学生の関心にあわせて展開し、様々な角度からキリスト教について学びあう事ができた。 ④もう一つの新しい試みとして、学期の最後に「感恩奉仕と私」というタイトルでレポートを書き、２年間のキリスト教の学びの集大成をひとつの文章としてまとめる作業を行った。これによって、学生が聖書やキリスト教教育の学びから何をうけとり、卒業していくのかが良く見えるようになった。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	授業評価アンケートの結果より、知識理解に関しては.3.9ポイントであった。トータルの成績の平均値は約80%以上。チャペルの出席率約80%以上とコメントカードの内容、教会訪問の出席率約90%以上と感想文の内容から、感恩奉仕の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言えよう。 また、「感恩奉仕と私」というテーマの学生のレポートの内容から、９０％以上の学生が、聖書について、キリスト教について、人生の基盤となるべき学びができたとのことから、全体をとおして教育目標が達成されたと言えよう。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	①ＣＰ，カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 　本科目は本学の要となる聖書の内容を学ぶ「キリスト教学Ｉ」の学びを踏まえ、展開している。聖書の学びを前提としての発展的な学びであるが、全体的に一定の成績を収めていることから，内容的には妥当であると考える。 ②ＤＰ，行動目標からみての内容的妥当性 　著名な西洋の文学作品・芸術作品鑑賞を、聖書を土台として考察し、キリスト教に関連するテーマをグループで調査・発表するという行動目標については、昨年度に引き続き新しい試みであったが、講義だけでなく、グループでのアクティブラーニング形式を取り入れたため、学生自らで習得した内容も多く、内容的に妥当であったと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	Bible Noteをキリスト教学Ｉより導入したが、未だ、使用方法の指導が徹底しておらず、キリスト教学Ｉに引き継いで使用する際、ノートの内容にかなりのばらつきがあった。２年間のキリスト教の学びの集大成として作成していきたいので、今後は授業外の予習・復習などで用いる事、チャペルのコメントカードを貼付け見直すことなどを、徹底していきたい。 本講義は、興味のない学生にも興味をもってもらうことが重要である。授業の質評価において，「授業中に自分の意見をまとめる，話し合う，発表するなど，学生が参加する機会が設けられていた」の平均が4.0であったが、引き続き、アクティブラーニングの手法を工夫しつつ、学生たちが自ら聖書を開いて、日常生活に応用できるような仕組みを作りたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	①保育科では、昨年度より、２年生後期の開講となり、「感恩奉仕」の学びの集大成としての位置づけが可能となった。本学の要となる「感恩奉仕」の集大成として学ぶ科目であるが、キリスト教学Ｉを発展的に展開していく上で、Ｉでの学びが重要である。Ｉの復習もⅡでの講義に加えつつ、学生が主体となって行うディスカッションや調査・発表を取り入れ、学生が主体的に授業を展開できるように促している。授業の最後に記入するポートフォリオやチャペル出席・教会訪問に加え、それらの学びをひとつのノートに記録できるようBible Noteを作成し、さらに関心あるテーマについてグループで調査・発表し、最後に「感恩奉仕」とは自分にとってどのような意味を持つか、自分自身の心を洞察していく作業をおこなったため、前年度より、内容が深まったと言えよう。引き続き、学生の興味関心を引き出し、「感恩奉仕」について日常的に考えることができるよう促すことが課題である。 ②２年生前期のチャペル出席率が低いことは、２年間を通して「感恩奉仕」を学んでいくための妨げとなってしまっている。キリスト教の授業がない前期のチャペルを、後期のキリスト教学と結びつけて出席率をあげていくような新たな対策が必要である。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	大黒　剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
心理学Ⅱ	1	後期	選択	いいえ	27

2. 観点・DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に〇	〇	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	①１年生の場合、大学の講義に慣れるまでにやや時間を必要とする。生徒の中には集中力を欠く者もいるため、念入りなオリエンテーションと受講にあたっての注意を理解させなければならない。また、心理学は専門用語が多く理解が難しい場合もある。そのような問題を解消するために、基礎的な心理学と我々の日常に関わる事柄と関連づけて関心を引きつけるようにしている。 ②SNSやマスメディアを利用して、最近の保育に関する社会的問題（例えば、児童虐待など）の情報を集めるようにしている。また、5回目の講義では事例について演習方式で ③8コマ目にノート提出、10コマ目に期末試験に関する模擬試験を行い，学生の復習への意識を高め，学習状況を確認するようにした。

4. 学生の目標達成状況について

	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	達成された	達成された				

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	授業評価アンケートによると、到達自己評価の平均点の全てにおいて、3.7以上で高得点だった。②少しそうではないと思うと評価した生徒は一名だけだった。その項目も、講義が「コミュニケーションと表現量の向上」というものだった。しかし、そもそも心理学Ⅱの授業ではコミュニケーション力の向上は狙っているものでもないので、授業内容とはそれほど関係ないものだと考えられる。それ以外の項目は③～⑤と評定していた。また、授業の質評価項目については、生徒の全員が③～⑤と評定していた。このことから、生徒からの視点によると到達自己評価、授業の質評価もほぼ満足できるものと判断できる。　ただし、図書館やインターネットを利用して知識を深めたものがいなかったので、次回の授業ではそのような課題も与える必要があると考えられる。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	学習到達度自己評価については、10名中10名が③以上の評定をしていた。このことから、自己評価ではあるが、科目の学習について到達目標は達成していたと感がられる。また、自由記述の意見としては、「分かりやすくて面白いです。」という評価をもらった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	今回の授業では学生が少なかったので、学生に積極的に発言させたことはとても良かったと思う。自由記述によると、「就職の選択の参考になる」「わかりやすかった、もっと受けたいと思った」と言った意見もあり、授業内容的には学生は理解を深めていたと考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	心理学の基礎知識を身に付けるという本科目の位置づけから，基礎的知識の形成については概ね達成できた。また、心理学Ｉは基礎であるが、心理学Ⅱは応用であるため、心理学についてより実践的な内容を学べる講義になっているが、今年度は心理学Ⅱを取る学生が極端に少なかった。これは、講義の時間帯が５限目というのも理由にあると思うが、学生が心理学に対してより興味を持てるように、心理学Ｉについてもより自分たちの生活に照らし合わせて考えられるような内容にしたいと思う。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	森　敦嗣

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期･後期･通年の別	必修･選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本国憲法	1	後期	選択	はい	92

2. 観点･DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に〇	〇	×	〇	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	①本科目は選択科目ではあるが、保育士を目指すものにとって日本国憲法は必須である。しかし、保育実習には一見関連性がなく、学生たちにとってもイメージしにくい科目であるため、日々の生活と憲法が随所で関係していることを説明し、具体的事例を盛り込みながら授業を行うことを心掛けた。 ②馴染みのない専門用語の学習や理論考察が必要なため、毎回配るレジュメの最後に必ず本日の講義のポイントとなる部分をまとめた問題を入れ、学生に解かせることで知識理解を定着させるようにした。 ③７コマ目終了後に中間テストを実施し、学生たちの学習状況を確認するようにした。同時に学生たちに復習の必要性を認識させた。 ④近年、導入された裁判員制度についての広報映画を見せ、学生たちも将来参加する可能性のある裁判員制度への理解とその重要性を認識させた。また現代的課題でもある裁判員制度について学生たちに調べさせ、その是非についての意見を書かせた。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	達成された		どちらともいえない		

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は、ABクラスで85.70点、CDクラスで85.02点であり、全体的平均値は85.38点であった。80点を理想的レベルとして試験を作成したが、それぞれのクラスの平均値がそれに達したことは、知識理解の面からはみても目標は達成されたといえる。 一方で意欲関心については、学生による到達度自己評価において、「専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」が平均値3.3とやや低く、図書館利用をした学生の回答も少なかった。原因として、講義内容に学生自身の意見をまとめる、参加するといったアクティブラーニングの機会が少なかった可能性が考えられる。ただ裁判員制度については映像の使用や制度の是非を問う機会も設けたためか、学生自らが調べたという回答がみられた。次年度ではさらに他の講義においてもアクティブラーニングができるものを盛り込みたい。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 本科目は選択科目ではあるが、一般教育科目の一つであり、DP1に関わるものである。本学の保育科の教育目的の一つが豊かな教養と専門知識をもった保育の専門家の育成であるが、本科目はその教育目的からみても内容的には妥当性であると考える。 ②DP、行動目標からみての内容的妥当性 知識理解に関する達成度は、成績評価の平均値をみても達成されたといえる。意欲関心については、日本国憲法が学生にはやや難解で馴染みにくい科目でもあるため、学習意欲が高まるよう講義内容を検討する必要はあるが、内容的には妥当であるといえる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	世間一般的に「難しいもの」ととらえられがちな日本国憲法であるが、授業評価において「説明がわかりやすかった」という回答が比較的高かった。これは毎回の講義の最後に重要なポイントと覚えるべき用語や項目をレジュメにまとめたことがかなり効果的であったと考えられる。一方で「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表する機会がつくられていた」の回答がやや低かったが、毎回の講義に40名以上が出席する科目であるため、一人ひとりに十分な発表をさせるのは時間的に困難であった。ただ裁判員制度の映像を用いて短いレポートをかかせる講義は、他と比べても学生の意欲が高く、さまざまな意見を拝見することができた。映像をつかった講義は効果的であったため、今後も他の講義でも用いていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	難解な科目ではあるが、成績評価の平均値がこちらの理想点を超えたことは、基礎的知識の形成という面においては達成することができた。特に映像をつかった講義は好評であったため、今後も活用していきたい。一方で講義の内容がやや受動的学習に偏っていたため、アクティブラーニングにおける学生自身の発表や参加の機会が少なかったことは反省点である。受講者が多いため、全員発表の場を設けることは時間的にも難しいが、今後の目標として、学生自身で調査研究ができるような課題を出していくよう心掛けたい。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	篠木　賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
スポーツ科学実技	1	通年	必修	いいえ	91

2. 観点・DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に○	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	本科目は卒業必修科目であるとともに資格取得に必要であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学年は1年生（通年）であり、今後資格を取得するために、自己の体力について把握することは大切である。また、授業だけではなく卒業後も生涯スポーツとして運動を続けてもらうために、さまざまな競技を行いルール理解や技術習得ができるように工夫した。

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された					達成された

（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均は91.4点（Ｓ－65、Ａ－17、Ｂ－6、C－3）である。ほとんどの学生がＳまたはＡを取得していることから、目標は達成されたと考えている。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	本科目は「一般教育科目」における「自然科学系」に位置づけられており、卒業必修科目である。また、幼稚園教諭免許の必修科目でもある。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価を見てもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	体力測定を前期の4月と後期の1月に行うことにより、学生自身が体力の変化を把握できるようにした。また、さまざまな競技においてゲーム形式だけではなく、技術習得のための練習を取り入れ、学生がお互いに教え合うなどの姿が見られた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。バレーボールやバドミントン等の競技だけでなく、学生からの意見であったフットサルなどの競技もできるように、環境や道具を整備したい。また、安全管理のために今ある古い道具を新しくすることを検討したい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	藤田　稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもの保健Ⅱ	2	後期	選択	いいえ	71

2. 観点・DP上の位置

	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
該当に○	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，自由記述の意見など	本科目は、保育士資格を取得するためには必修科目であるため、本学科はほぼ全員が保育士資格を取得することから必然的に「必修科目」との認識がされている。そのため、受講動機が「必修科目である」または「資格取得に必要である」と回答している。本科目のDPが「思考判断」および「技術表現」になっていることから、現場で使える技能習得を目指した授業内容を心掛けている。そのため、実技指導はもちろんのこと、状況分析能力および判断能力を養うため、ロールプレイングなどの方法を取り入れ、実践的に学べることを目指した。実習を積み重ね、着任が目の前にある２年生にとっても必要性を十分感じながらの学びへの姿勢が取れやすかったのではないかと思っている。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された		達成された			達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績(トータルの成績，行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差，S，A，B，C，Dの度数)，独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	今期も本科目の不可はいなかった。演習科目であるため、授業に出席できなければ必然的に成績は低く、学生達の授業への取り組み度が非常に良好であったため、相対的に秀が多くなった。学生の授業評価結果とも乖離は見られないため、全般的に理想的レベルまで習得できた学生が多かったと評価している。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 本科目は、１年後期の「子どもの保健Ⅰa」、２年前期の「子どもの保健Ⅰb」に続いた科目であり、保健・栄養・障害児等の各科目との関連性も高く、それらの知識を踏まえた演習科目であるため、統合的な内容と位置付けている。学生達の学びの中でも、各科目で学んだことを踏まえ、課題に取り組む姿が多く見られた。カリキュラムマップでの系統性および段階的教育が自然と感じられるようになっているため、CP、カリキュラムマップ上の位置づけおよび内容的妥当性はあったと評価している。 ②DP、行動目標からみての内容的妥当性 本科目は「思考判断」「技能表現」に重点を置いている。学生からの授業評価においても「知識を確認、修正したり、新たに得ることができる」平均値4.4、「自分が学ぼうとしている専門分野について的確に判断する力を得ることができた」平均値4.4、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」平均値4.3とDPに該当する項目がおおむね4.3であったことから昨年度よりも上昇しており、DPおよび行動目標に対する科目の内容は妥当性があったと判断している。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	既習の「子どもの保健Ｉａ・Ｉｂ」は、知識の獲得が主であったため、ノート作成により学修効果を高めてきた。しかし、今期の「子どもの保健Ⅱ」は、養護技術を中心とした演習で構成されているため、学習量の評価は、授業の記録に関しても「ノート作成」は少数で、大半が「主に配布資料に記録した」であった。この方法は、奨励している方法であり、問題はないと考えている。予習復習に関しては、全てが実技であるため、個々人での練習等は難しく、課すことに無理があると考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	実技が主での授業内容であるため、授業時間内にしか学修ができないのではないだろうか、と、授業時間内を最大限使用しての演習をおこなってきた。そのため、今年度も、学生達には演習の準備後片付けは課していない。その分、十分に学びきってほしいと思っている。昨年度の学生達の授業評価から、時間外でも科目内容について学修を深めていることがわかり、また、深めたいと思っていることがわかり、学生達がさらに学びを深められるように、自己学習をどのようにしていけば効果的か、また、必要なことはどのようなことなのか、学生の学修への意欲をさらに引き上げていくことができるように学修支援することを課題とした。その結果、今年度は、予習復習に取り組む学生が増え、演習の手助けともなった。次年度は、更に調べ学習が進むように関心を広げられるような演習内容を見出していきたいと考えている。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	出来　登代子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期･後期･通年の別	必修･選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもの食と栄養	2	前期（後期）	選択	いいえ	34

2. 観点･DP上の位置

	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
該当に〇	〇	×	×	×	〇

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	当科目は保育士資格必須かつ選択科目である。必須科目と捉えている学生66.7%と多い。しかし国が食育基本法を施行し、食育を実施する保育者を目指している※１ことから、必須と捉えることは妥当ともいえる。 ◎前期の反省を踏まえ授業開始前にテーマのみでなく何をねらいに学修するのかパワーポイントと口頭で伝えた。前期同様グループで取り組む実習・演習は、内容と学生の技術能力に応じてグループ人数を変えるよう心がけた。 ◎幼児期の食育は『こどもみずから「楽しく食べる」』※２を目的にこどもが主体的に取り組むことを目標にしている。このことから学生の体験が保育者の食育・クッキング保育に反映できるよう、みずからレシピを調べ献立の組合せを考える課題を課した。今年度は新たにいろいろな間食のレシピを各自がつくり、各グループ別に実践をおこなった。 ※１根拠　食育推進基本計画より（厚生労働省） ※２根拠　「保育所保育指針」「楽しく食べるこどもにー保育所における食育に関する指針ー」の食育の目標及び内容より（厚生労働省）

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績(トータルの成績，行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差，S，A，B，C，Dの度数)，独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	◎ＤＰ１知識理解において 到達度の自己評価（２）知識を確認、修正し新たに得ることができた「②少しそうでないと思う」0名・中央値4.0、（３）事象を理解する視点や考え方を得ることができた「②少しそうでないと思う」0名・中央値4.0より達成されたと考えたい。ＤＰ１の成績結果をみると、1クラスはほぼ全員8割以上の評価であった。一方のクラスは8割以上の評価の者は47%であった。また理解を深めるため文献等調べる必要のあるレポートを課したが、「図書館等利用した」40%、「インターネット等利用した」60%であった。以上よりＤＰ１は【やや達成された】とした。 ◎ＤＰ５技能表現において 到達度の自己評価（７）自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた「②少しそうでないと思う」0名・中央値4.0であった。ＤＰ５の成績結果をみると、1クラスは全員8割以上の評価であった。一方のクラスは8割以上の評価の者が65%であった。食育実践のﾃｸﾆｯｸに関する食育実践発表・食文化9±1.3/10点、実践発表16±2.1/20点であった。また「自宅で間食をつくった」者がみられた。これらに加え当教科の技能表現は経験の積み重ねも必要であることを加味し【達成された】と考えた。 授業の課題以外に学習に取り組む者がほとんどみうけられなかったが、保育者として食育に関わる機会が多いにあるので今後の自己研鑚に期待をしたい。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	①ＣＰ、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 この教科は保育者に必要な専門科目であり、保育士資格必須科目である。 受講動機①必須科目である66.7%　②資格取得に必要である46.7%であった。保育者に対するニーズは幼稚園教諭と保育士資格両方の保持者であること。さらに食育の取り組みをおこなうことが、幼稚園、認定こども園、保育所・児童福祉施設等で奨められていることから内容的には妥当である。 ②ＤＰ，行動目標からみての内容的妥当性 到達度の自己評価に着目すると（２）知識の習得のポイントが高かったことは、当教科のＤＰ１・知識の習得との関連性が推測された。またＤＰ５・（７）技術を身につけるは、当科目における食育の実践方法・食を通しての援助・支援において内容的に妥当であると考える。当教科で得た知識を対象である乳児・幼児の発育・発達に応じた食育のテクニックとして活かすことが今後の演習の課題点である。 ③まとめ 以上から内容的妥当性には問題ないと考えられた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	◎前期授業の質の評価を振返り、後期授業においては授業の理解を促すため、調理実習においては事前学習を勧めた。予習レシピの提出やレポート提出も前期より若干増やした。調べる必要のあるレポートは必ず参考文献を記載するよう求めた。しかし学習量をみると予習をほとんどしない者が50%（0～1回）であった。授業演習の内容と学習量を相関させることが課題である。 ◎学生の意見として説明と板書がわかりずらいという意見があった。テーマまたタイトルとして1回記載した特に長い用語は、学生に伝えて横線や記号で済ませたことが理由としてあげられた。学生がノート記載時は授業を中断する必要性を痛感した。授業の進行と並行して学生へ授業内容の確認をすることやパワーポイントの有効活用をおこなう方向で改善をおこないたい。 ◎「2コマとも調理実習がよい等」→調理実習後講義・演習授業の実施に対して、学生から授業の切り替えが難しいという意見もあった。しかし保育者として食育が実践できるよう、こどもの食生活の理解や食育のための食品・栄養に関する知識、食を通しての援助・支援技術も身につける必要がある。そのための講義・演習授業も必要不可欠である。次年度は授業の進め方を見直し検討をおこなう方向である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	授業の質の評価において「②少しそうでないと思う」に該当する学生へ授業の内容の理解度を高める工夫が必要である。また事前学習を必要とする演習と主体的に取り組みやすい演習方法が課題である。 日常生活の中で食事作りをする者が少なく（授業開始前アンケートより）。調理実習では、調理用語理解の難しさや調理技術が未熟な問題点が観察された。しかし調理実習では主体的に取り組む姿勢が観察された者もいた。講義・演習と調理実習の授業の進め方を次年度は見直し改善をおこないたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	藤田　稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
病児保育演習	2	後期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
該当に○	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	本科目は、「専門科目」の本学独自の選択科目であるため、医療保育や病児保育に関心が高い学生しか受講しない科目である。受講動機も「関心のある内容である」は80%であることから意識の高い学生が受講した。今年度もは、医療保育系に就職を希望する学生がいなかったため、まずは、病児保育室とはどのようなものなのか、園児が体調不良になった時に、園をおやすみした時にどのように過ごしているのか、などをイメージできるように授業内容を考えた。また、今年度は、病児の中でも乳児と障がい児に焦点を当て、関心の高い患児へのあそびおよびおもちゃ作りができるような内容にした。

4. 学生の目標達成状況について

	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	達成された			達成された		達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績(トータルの成績，行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差，S，A，B，C，Dの度数)，独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	受講生も１０名のみであったため、受講生の進捗状況に合わせた授業をおこなってきました。その結果、十分なディスカッションも可能であり、シラバスに提示している評価基準に基づいて評価すると１０名全員が秀であった。従って、掲げているＤＰについての目標は達成されたと評価できる。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は、昨今北九州市内でも重要性が認識され、増えてきている病児保育について取り上げている。この科目を準備している養成校は、九州では見当たらない。そのため、CPに掲げている本学独自の科目としての位置づけおよび内容としては妥当性があると思っている。 ②DP、行動目標からみての内容的妥当性 本科目は、卒業必修でも資格免許に係る必修科目でもないため、完全な選択科目である。そのため、関心が高い学生しか受講することはなく、学生たちの満足度を得られるようシラバスから逸脱しない範囲で内容を微調整をおこなった。その結果、「自分なりの目標を達成した」「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びをふかめたいと意欲をもつことができた」「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術をみにつけることができた」の項目は、今年度も平均値が4.0～4.2で高値であった。このことから、DP３およびDP５としての内容で、授業評価の学生の自己評価も合致しているため、妥当性があると判断できる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	２年間で資格免許を取得するために必要な科目数が多く、自己学習の時間の確保が常に困難な状況である。そのため、この科目は、完全な選択科目であるため、授業時間内で学びを深められるように取り組んできた。学生の授業評価では、授業内で提示もせず、求めてもいなかったが、実際の現場での事例や、病児のうち、イメージがしやすい乳児または障がい児に対するあそびなどを演習として取り入れたため、関心が高まり、自己評価には数値としては現れていないが、課題や演習の準備は全員できていた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	前年度までは、本科目を受講する学生のほとんどが、２年前期で医療保育概論を受講し、基本的な知識は前期のうちに習得していた。しかし、今年度は、履修規定改正により、医療保育概論と同時に本科目が開講された。そのため、今年度のようなスムーズな理解と実践的内容のみでは達成目標およびDPの到達には至らない可能性があったが、医療保育概論と病児保育演習をしっかりとすみわけができたため、受講生からも不満等も聞かれなかった。本科目は、今期で廃止となります。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	領木　信雄

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育方法とメディア	2	後期	選択	いいえ	72

2. 観点・DP上の位置

	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
該当に○	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	つくられたものを分析するだけではなく、つくる側がどのようにつくっているかという視点から見られるように進めた。 コメントシートを毎回書いてもらって、時間内にフォローできなかった点をフォローできるようにした。

4. 学生の目標達成状況について

	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	やや達成された	やや達成された			やや達成された	

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績(トータルの成績，行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差，S，A，B，C，Dの度数)，独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	成績はレポートで評価した。半数近くがS～Aの評価であった。 学生による「達成度自己評価」においては、どの項目においても多くの受講生が「まあまあそうだと思う」～「かなりそうだと思う」を選んでおり、目標達成状況は概ね良いと言える。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	１．CP・カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 本科目は専門科目の必修科目である。カリキュラムツリーにおいて「保育の内容・方法に関する科目」として、内容的に妥当であると考える。 ２．DP・行動目標から見ての内容的妥当性 特に「保育者に必要な専門分野の学問知識を修得している」について、内容的に妥当であると言える。 ３．まとめ 以上から、内容的妥当性に問題はないと言える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	復習をほぼしていない学生が多く見られるので、復習すべきポイントを分かりやすく示すようにしたい。 参考にすべきwebページも都度紹介していく。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	達成状況は概ね良いと言える。 時間を調整して、互いの意見を発表できる場をつくるようにしたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	命婦　恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育相談支援	2	後期	選択	いいえ	72

2. 観点・DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に〇	×	×	〇	×	〇

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	学生の受講動機は、ほとんどが免許・資格に必修科目であるためであり、科目へのモティベーションというよりは、保育職へのモティベーションを持って受講していると考えられる。そのため、保育現場での実践を意識した授業内容としている。現場で多く出会うような事例を準備し、それについて考える時間をできるだけ多く取るようにしている。ただし、臨床心理学や対人コミュニケーション、メンタルヘルスについての基本的な知識を伝えることと並行して実施しており知識と実践のバランスに注意しながら授業の計画を立てた。また、現場で様々な事例に対応するために、個別の方法やマニュアルではなく、基本的な考え方や視点の持ち方についての理解が深まるよう留意した。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された			やや達成された		やや達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	多くの学生が、トータルの成績評価で80点を超えており、教育目標はおおむね達成されていると考えられる。また、アンケートの達成度自己評価の各項目に「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と回答している学生を合わせると60%になり、その点からも、教育目標がおおむね達成されていると考えた。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	この科目に関するDPの項目である意欲関心に対応するアンケートの自己評価項目は、「（6）学びを深めたいと意欲を持つことができた」であるが、その項目に「わりにそう思う」「かなりそう思う」と回答した学生は、61%であった。また、DPの技能表現に対応する項目である「（7）技術を身につけることができた」には60%「（8）コミュニケーション力や表現力を高めることができた」には61%の学生が「わりにそう思う」「かなりそう思う」と回答しており、学生が授業を受けた手ごたえとして感じていることと授業の目標が一致していることがうかがえる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	授業の進め方、評価基準などについて、昨年度の授業評価を参考に、15回の授業の中で、繰り返し伝えるようにしたところ、今年度は、昨年度よりも学生に伝わっているようであった。 授業外での学習については、教員の指示ではなく自主的に行っている様子がうかがえた。また、この授業に関連して図書館の利用やデータベースの利用をしたと回答している学生がおり、教員の指示以上に学習が広がっていることがうかがえた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	教育目標は、おおむね達成している。学生の自己評価も高く、授業目標や教員の意図が良く伝わっているように思う。今後も学生とのコミュニケーションを図りながら授業を進めていきたい。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	笠　修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会的養護内容	2	後期	選択	いいえ	70

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	本科目は保育士資格取得のための必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業実施にあたっては、社会的養護の担い手である保育士に求められる基本的な知識の獲得を目指すとともに、具体的な事例を用いた個人ワークやグループディスカッションを多く取り入れ、授業での学びをできるだけ実践と関連付けて考えることができるよう工夫した。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された		やや達成された			やや達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な評価としてＳ-8名、Ａ-34名、Ｂ-19名、Ｃ-15名、Ｄ-12名であり、Ｓ、Ａ評価を取得した学生が全体の約60%以上であることから、目標はやや達成されたと考える。また再試対象者は8名であった。他方、学生による評価をみると、「学習達成度の自己評価」「授業の質的評価」の全ての項目に対して、98～100%の学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	本科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、「保育の内容、方法に関する科目」に位置づけられている。資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。 ＤＰでは、学生による授業評価の知識理解の観点、技能表現の観点での自己評価について、回答者全てが「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。また、毎回の授業終了後に各自のワークシートの確認を行ったが、回を重ねるごとに考察に深まりがみられた。 以上のことから、内容的妥当性は問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	今年度は、昨年度得た課題をふまえ、事例内容や事例検討方法等の改善を行った。その結果、授業評価アンケートの授業に対する学生参加度を示す項目において「まあまあそうだと思う」以上の解答をしており、そのうち約62%から「わりにそう思う」以上の回答を得ることができた。次年度も、授業の質の向上に向け、教材や授業展開の方法等の改善を図っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。先にも述べたが、今年度は昨年度得た課題を踏まえ、事例内容や検討方法について改善に取り組み、学生からも一定の評価を得ることができた。今後も受講生全体の学習理解度を高めていくことができるような方策を含め、授業の質の向上へ向けた取り組みを行っていきたい。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	命婦　恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育カウンセリング	2	後期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	学生の受講動機としては、「ピアヘルパー資格」の取得のために必要であるからというものと、資格と関係なくカウンセリングや授業内容に興味をもって受講している学生とに分けることができる。資格取得を目指している学生にとっては、授業内で資格試験の対策を希望する意向もあるが、資格試験を受験しない学生にとっても意義のある授業内容にするために、試験対策は授業外で行うこととした。また、選択科目であり受講生が少ないことから、グループでの活動を取り入れやすく、実際に活動しながらカウンセリングの実践につて学ぶような授業内容とした。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された		やや達成された			やや達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	受講生は、積極的に授業に参加しており、授業中に実施したワークもまじめに実施していた。授業中に教員とのコミュニケーションをとる姿勢もみられ、学生が主体的に思考している様子がうかがえた。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	保育や心理学に関連する科目についての学びをもとにした実践的な科目として位置づけられており、選択科目で受講生の人数が少ないことから、積極的に個別やグループでの実習を取り入れた内容とした。受講生は熱心に取り組んでおり、内容的には妥当であったと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	授業内容は、体験や活動の中から考え方や技術を学んでいくものであり、学生が到達していることについて、教員からのフィードバックをより丁寧に行うことで、学生が実感をもって学びを深めることができると考えた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	教育目標は、おおむね達成している。学生の自己評価も高く、授業目標や教員の意図が良く伝わっているように思う。今後も学生とのコミュニケーションを図りながら授業を進めていきたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	村上　里絵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもの生活と遊び	2	後期	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に○	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	①2年生後期の授業であり、次年度には「保育現場に立つ」ということを意識して授業を行い、現代の保育現場を取り巻く社会問題を課題として準備した。しかし、実習で学んでいるものの、社会（保育現場）で起きている様々なことをイメージしにくいのか、学生の意欲や関心に深く繋げていけなかったことは課題になっていると思われる。 ②今回の受講動機を見ると、「関心のある内容である。」が50.0％と「教員に進められた。」が31.3％である。半数が関心のある内容であるとの回答から、来年度にはそれに応え得るような授業準備をしたい。　③「子どもの生活と遊び」が、何を学ぶのかイメージしにくいことが課題でもあるが、平成30年度の幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園要領改訂のポイントでもある「保幼小連携活動のアプローチカリキュラム」に繋がるように、授業準備をしていきたい。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された			やや達成された		やや達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	①レポートテーマは、「虐待について」「父のフロンティア」「児童相談所の現場」「保育士不足」「自分の模擬保育評価反省」の5つであったが、どのテーマにおいてもレポート回収率は100%であった。内容に関しては、深くものごとを捉え思考する学生と、表面だけを捉えて浅い考えでレポートする学生とにはっきりと分かれていた。②レポート提出、模擬保育及び授業貢献度、出席点の４つの視点から評価をしたが、平均値は87.8点であった。目標達成については、全体を通してやや達成されたと思われる。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	①ＣＰ上の位置づけからみての内容的妥当性 本科目は選択であるが、資格取得後の保育者として仕事をする上でも大変重要な知識であり、思考の枠組みであると思われる。又、平成30年度に改訂する幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園指針における改訂の大きなポイントのひとつである「保幼小連携活動」についても知識として知っておく必要がある。この課題にも応えられるように授業の中で工夫を試みたが、学生のイメージを喚起できるように内容を工夫する一層の努力が必要であると思われる。 ②ＤＰ行動目標からみての内容的妥当性 保育領域の枠を広げて、日本社会と子どもの生活をつなぐ部分に視点を当てて施行するという内容を取り入れてみた。しかし、受講動機も「関心のある内容である」の50％より、「単位数を確保する」が56.3％と大きく上回っており、動機づけに苦慮する面がある。この課題に応えるように後半は「保育における子どもの生活」「小学校との連携」など内容を工夫した。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であったと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	到達度自己評価において「自分なりの目標を達成した」の平均値が3.6と、他項目に比して低かった。科目名から何を学ぶかをイメージしにくく、授業内容がつかみにくかった為に、目標を掲げにくかったのではないかと思われる。初講義のオリエンテーションで、この科目の授業概要・授業の進め方と併せて、この科目のねらい・到達目標について更に詳しく説明し、学生各自が「自分なりの目標」を考え、記入しておく時間を作りたい。また、授業内容に関しても具体的イメージが持て、主体的に学ぶことができるように工夫していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	専門応用科目として、基礎科目やそれまでに経験した実習をふまえて、さらに踏み込んで学生が「保育観」を捉え、仲間と話し合い考え合う時間を増やしていきたい。また、2年生後期までに身につけた専門的技能を表現する時間がとれるよう、工夫していきたいと思う。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	東　彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育総合表現	2	後期	選択	はい	72

2. 観点・DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に○	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	①学生が主体的に演習できるよう、環境づくりを整えた。 ②選択必修であり、保育士資格を取得予定の多くの学生が受講するため、クラスの垣根を超えて、学年全員が役割を全うできるよう、学年全体でひとつの作品に取り組む試みをおこなった。 ③教員が主導するのではなく、学生の中に監督、助監督を置き、学生が中心で進行できるよう、援助した。 ④担当教員3名間のコミュニケーションを重視し、それぞれの専門分野を担当しつつも、相互の連絡を密にとった。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された					やや達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	到達度の自己評価①自分なりの目標を達成した（4.3）、②知識を確認、修正したり、新たに得ることができた（4.3）、からもわかるように、全体をとおして、教育目標はやや達成されたと言える。また、⑦専門分野で必要となる技術をみに付ける事ができた(4.3)、⑧コミュニケーション力や表現力を高めることができた(4.3)、からわかるように、技能表現においても、教育目標はやや達成されたと言える。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	学科の集大成としての表現活動という位置づけのため、音楽、身体、造形それぞれを統合した表現を体得できることを目標としていることからも、通年として、チームワーク力やコミュニケーション力を養うために、自らの資質を知り、表現の媒体を選択できるよう配慮した。みずからの資質を共同作業において、生かして行くことができたことから、内容的には妥当と考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価の結果（平均4．3）からみて、おおむね進め方については、評価されていると言えるが、担当の部署ごとに意識のばらつきがみられた。今後は、監督への負担が過剰にならないよう、また、部署ごとのリーダーシップを円滑に進めることができるよう、教員のよりきめ細やかな関わりが必要であると考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	今年度から、通年ではなく、後期に週２コマ集中型の授業となった。その短期間の中で、２グループにわかれ、集中して作品を創る活動を行なった。 ２年間使用していた会場が使えなくなったため、新たに北九州芸術劇場を会場とし、小劇場という会場の形態にあわせた形での作品づくりが求められた。学年をランダムに２グループに分けたことで初めは学生から苦情があったが、進めていくうちに、話したこともない学生との出会いやチームワークが生まれ、結果としては大変よいコミュニケーションを図ることができた。２グループがそれぞれの作品を仕上げる中で、お互いのグループを意識しながら行なったことも共に向上心を失うことなく進められたのでよい点であった。 今年度より、造形担当の教員が確保できなかったため、来年度も造形部門でのフォローアップが課題である。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	笠　修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キャリア講座Ⅲ	2	通年	必修	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に○	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	本授業では、1年次における「キャリア講座Ⅰ」、「キャリア講座Ⅱ」での学びを踏まえ、保育と福祉の関連や保育者に必要な福祉的視点を養うことなどに主眼をおいたセミ活動を行っている。セミでは、福祉に関する知識的理解を高めるための講義や、実践的理解および職業理解を促すことを目的とした施設見学を行っている。また、学生自身が責任感をもち、能動的に活動できるよう学生主体のゼミ運営を心掛けた。

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された				達成された	やや達成された

（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な評価として、全ての受講生がS評価であった。 他方、学生による授業評価をみると、「学習達成度の自己評価」「授業の質的評価」のすべての項目に対して、「まあまあそうだと思う」以上の評価がなされている。しかし、「学習量の評価」では、授業準備や復習にかんする項目での約67％の学生が1回未満という評価をしている。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	本科目は、「専門科目」における「総合演習」として、保育者・社会人としての人間形成を行ううえで基底をなす位置にあり、必修である。 DPに関して、「学習達成度の自己評価」における態度を示す項目で、全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。 以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	授業では、学生が主体的に取り組むことができるよう、可能な限り学生が発言できる機会を提供することを心掛けている。また、他方、学生自身がゼミ内容に興味・関心をもち、活動に取り組んでいるからか、到達度自己評価の項目に関して肯定的な評価をしている（10項目平均4.15）。他方、学生の自己評価をみると、授業を振り返るための復習や授業の課題以外での学習に関して、多くのが学生が低い評価をつけている。次年度は、学生が主導性を高め、主体的に考え行動できるよう、ゼミ運営の改善に努めていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の評価結果から、本科目における学習目標はやや達成されたと考える。主体性や自律性は、保育者としてまた社会人として必要となる基礎的能力の一つである。次年度は、それらを高めることができるよう意識的な取り組みを行っていきたい。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	阿南　寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キャリア講座Ⅲ	2	通年	必修	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に○	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	本科目は保育科の必修科目である。一年次の「キャリア教育Ⅰ」「キャリア教育Ⅱ」での学びを踏まえた上で、より専門的に保育の内容に特化したゼミ活動を展開している。実践活動は実習でも行うが、それは常に全てを評価されるという緊張感に包まれているため、ゼミ活動では責任感を持って活動しながらも、ゆったりとした雰囲気の中で遊びを展開していくことを目的としている。対象は子どもから高校生、親子など様々であるが、内容は学生自身が主体となって考えられるように働きかけるように心掛けた。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された				達成された	達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な評価は平均93点（最高97点、最低85点、A-12人、B-1人）であり、目的は達成されたと考えられる。評価はグループ討議での積極的発言や製作への取り組み、準備への貢献度などを中心に行った。より対象が楽しめるように作品や内容を吟味するため、授業時間以外も活動を行ってきた。しかしながら、積極的に活動する学生への負担が高くなる傾向も見られたため、次年度以降の改善に活かしたい。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	本科目は保育科専門教育科目の必修でもあり、学生は保育科教員の専門性に応じて自らが選択した担当教員のゼミに配属されている。本ゼミはボランティアも含む保育活動を展開しているが、実習での経験を基に学生自身が対象を中心とした実践を行い、実践後は課題を明確にしたうえで次の活動や実習に活かしている。 これは対象に合わせた計画を立て、実践したうえで自ら課題を見つけ改善をしていくという、保育者として必要とされる資質でもある。 以上のことより、内容的妥当性に問題はないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	授業の質の評価は4.4であった。学生たちが興味・関心を持つゼミ・教員を自ら選択しているためであることも考えられるが、実践を通して学生たちの達成感や満足度が高かった（到達度自己評価4.4-5項目、4.3-3項目、4.2-2項目）ことも影響していると考えられる。しかしながら、教員が提供した活動については積極的に取り組んでいたものの、学生自身が活動を提案する機会を設けることができなかった。次年度は、企画・立案から学生が主体的に考えることができるようにしていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	他者との協同やその他の取り組み状況をみると、基本となる授業の目的は達成されたと考えられる。次年度はより学生の意見が反映できるような働きかけを行えるように心掛けたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	命婦　恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キャリア講座Ⅲ	2	通年	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	学内外での活動を通じて、体験的に学習していくことを目標に授業を計画した。受講生は、地域の子育て支援への関心を持って選択していた。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された				やや達成された	やや達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	受講生は、実際に地域での子育て支援に参加しており、自分たちでプログラム内容を計画し、実施することもあった。また、外部講師によるワークショップに、スタッフとして参加することで、受講生の知見や技術も向上したと思われる。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	保育職を目指す学生を対象に、地域での子育て支援の実践と、自分たちで企画した活動を実践することを中心に授業内容はくまれている。保育に対する意欲と関心を高め、保育の表現技術やコミュニケーション能力を実践的に高める内容であったと評価できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	授業の進め方は実践的であった。今後、実践した内容を他の講義内容とリンクするような支援をしていくことも必要と感じた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	授業目標は概ね達成されている。学生の自己評価も充分に高い。今後も地域での実践を重ねることと、さらに他大学の学生との交流の機会を持ちながら受講生の視野を広げていく内容にしていきたい。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	篠木　賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キャリア講座Ⅲ	2	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に〇	×	×	×	〇	〇

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	本科目は卒業必修科目であるとともに資格取得に必要なため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。一年次の「キャリア講座Ｉ」「キャリア講座Ⅱ」での学びを踏まえた上で、学生自らが様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し解決できるように指導を行った。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された				達成された	達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均は95.8点（Ｓ－7、Ａ－1）である。ほとんどの学生がＳまたはＡを取得していることから、目標は達成されたと考えている。Ｓを取得した学生は、保育者として自己分析ができ卒業までの課題を発見し適切な計画を立てることができるようになっていた。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	本科目は「専門科目」における「総合演習」に位置づけられており、卒業必修科目であり幼稚園教諭免許、保育士資格の必修科目である。受講生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価を見てもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	教師からの一方的な講義にならないように、グループワークや学生が発言できるような内容で授業を行った。それにより学生が考えて発言・行動する姿が見られたが、発言する学生に偏りがみられるため、すべての学生が発言しやすい環境づくりができるように検討していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。次年度はより学生の意見が反映できるように検討したい。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	藤田　稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キャリア講座Ⅲ	2	通年	必修	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に○	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	本科目は「卒業必修科目」であるため、受講動機も「必修科目である」「資格取得に必要である」「関心のある内容である」となっていた。今年度は、毎月第４木曜日のゼミの時間に井堀市民センターでの子育て支援活動があったため、その企画運営に多くの時間を割いた。また、同時にこのような活動に関心が高い学生が集まったため、士気も上がり、ゼミ全体の学ぶ意識も高くなっていた。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された				達成された	達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	ゼミ活動は、毎月の行事に追われていたが毎回の振り返り会を必ず行い、課題を抽出し具体策を得るというＰＤＣＡサイクルができていた。また、この流れは徐々に学生が中心となって開催するまでに成長した。行事に対する企画力、技術力、コミュニケーション力も急成長を遂げ、評価としても全員が「秀」という成果、目標達成度であった。学生達の自由記載の内容も「大学生活の一番の思い出になりました」と記述されているように充実感がうかがえます。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	本科目は、キャリア教育の完成の位置づけであるため、保育科の教育全体を支える土台でもあり、総括でもある。ゼミ活動は実践的で、実際に子ども達との触れあいによるものであり、さらに、実習では体験できない保護者との関わりができる絶好の機会でもあった。そのことからも、今までの学習してきた総括、そして、キャリア教育そのものであると考えられ、ＤＰ，ＣＰ．カリキュラムマップの位置づけからも内容は妥当であったと評価している。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	「学習量の評価」は評価が低いが、実際にはゼミ時間外で自分の空きコマや放課後に自主的に残って作業をしたりしていた。自由記載も「大変だと思うことも多かったけど…毎日が楽しかった」という記述がみられた。本科目は、学生自身が希望して選択して決定するため、当ゼミの内容に賛同している学生であることから、他学生から見ると過重に思えるかもしれないが、受講生達からの満足度は得られていると思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生達の実際の活動場面からも、子どもへの対応、保護者への対応等の向上は目を見張るものがあった。学生達の活躍できる場を提供し、その環境を整えること、側面的な支援が本科目における私の使命と考えている。対象者からの評価も高く、次年度の継続を切望されているため、活動は続けたいと考えている。次年度は、学生の負担を考えつつ、さらに内容のレベルを上げていけるようにブラッシュアップしていきたい。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	戸田　由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キャリア講座Ⅲ	2	通年	必修	はい	11

2. 観点・DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に○	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	ファンタジー文学は、所謂精神世界に孕んでいる問題を解決するための領域であるため、座学と映画（出来上がった作品鑑賞）の二つの面が非常に重要となる。したがって、まずはその点を十分学生に考慮してもらうところから始めなければいけない。そうでなければ、単なる心理学的考察にとどまる危険性があるので、あくまでも明快なテーマを設定することを主眼とする。

4. 学生の目標達成状況について

	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	やや達成された				達成された	どちらともいえない

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	行動目標は、ほとんど達成されたといっても過言ではない。斬新な、発想と、学生の魂の成長を見ることが出来たように思う。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	①ＣＰ，カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容妥当性…学習到達度も、かなりのところまで進んでいると思われる。また、自主的に取り組んでいるので、内容的に妥当性があると考える。 ②ＤＰ，行動目標から見ての内容的妥当性…学習への熱意、受講動機から鑑みても、それぞれ到達点が高いゆえに、内容的に妥当性があると考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	講義の進み方、あるいは、テーマに関しては学生の意志をとおして、その年、その年で異なるものであるため、それがそのまま改善策にもなり得ると解釈している。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	ファンタジーは、視点を変えれば、幾通りにも表現が許されるものなので、その柔軟性を活かしながら、講義に発展させてゆきたいと思っている次第である。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	阿南　寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期･後期･通年の別	必修･選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育・教職実践演習（幼稚園）	2	後期	選択	いいえ	71

2. 観点･DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に〇	×	〇	〇	〇	〇

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	本科目は免許・資格取得における必須科目であり、在学時における実習を全て、また保育に関する学びの大半を終了した学生たちが受講している。本科目に至るまでに学生が経験してきた学びを活かし他の学生と共有できる講座、学生にも親しみのある卒後1年未満の卒業生を招いて新任の保育者としての心がまえを伝える講座など、実際にロールプレイを行ったり人との協働の大切さを感じられるように構成している。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された		やや達成された	達成された	達成された	やや達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な評価は平均点80点（最高点98点、最低点54点、A-12名、B-25名、C-20名、D-9名、E-3名）である。学生により評価にばらつきがみられるものの、半数以上の学生はAまたはBの評価であり、全体としては目標の達成に近づけたと考えられる。 また、学習量や図書館・情報の利用も通常の講義と比較すると行っている学生は多く、自ら授業に向けて積極的に取り組んでいるようである。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	本科目は免許・資格取得における必須科目であり、学生は主体的に学ぶ姿勢ができている。講座の中では授業や実習の中で獲得してきた知識や技能を十分に発揮するために事前準備や振り返りをしっかりと行っている学生も多い。その結果「学習到達度の自己評価」も概ね「まあまあそうだと思う」以上を選択されている。 以上のことより、内容的妥当性には問題はないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	授業はオムニバス形式でそれぞれ専門の教員が担当している。模擬保育では各クラス毎に担当教員が異なるが、事前に入念な打ち合わせを行うことはもちろん、授業実施の都度主担当との打ち合わせを行うことで全クラスの評価が統一されるよう配慮している。また、保育相談のロールプレイでは、複数担当とすることで学生たちに授業の意図が伝わりやすいようにしている。 しかしながら、グループワークでは一部の学生のみに負担が偏る場面も見られたため、今後、きちんと状況を把握しながら指導する必要がうかがえる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業評価及び授業への取り組み状況からは、概ね本科目の目標は達成できたと考えられる。今後もより学生が関心を持つとともに保育者としての課題を見出し解決していけるような授業を展開していきたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	阿南　寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育実習指導	1～2	四期	選択	いいえ	74

2. 観点・DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に○	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	本科目は幼稚園教諭免許状取得のために必要である「教育実習」と」関連した科目であることを学生も理解している。そのため、免許状取得を目指す学生は全員受講している。授業内容は同実習関連科目である「保育実習指導」との関連も考慮した上で設定しており、入学時から全実習終了まで、さらには卒業後を意識したものとなっている。特に1年次は附属幼稚園での「見学実習」で観察の仕方、考察の仕方に触れ、後期は実際に観察を中心としながらも手あそびや絵本の読み聞かせなどの部分保育、保育者としての視点を持ちながらの子どもとの関わりが持てるようになることを目指していた。2年次は手作り教材の発表や短時間の指導計画を立てての実践、最終の実習では全日を実習生が担当する機会をなるべく持つなど、より保育者として責任を持った実習となるよう計画している。授業では、これらの実習で少しでも学生が自己を発揮できるように、発表の機会や指導計画の添削、報告会実施による他者との学びの共有など、学生の学習準備性に合わせた授業計画を立てている。 また、欠席した学生へは理由を考慮したうえで指導し、必ず全授業内容を補完するようにしている。

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された	やや達成された

（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な評価は、平均点90点（最高点98点、最低点64点、A-44人、B-23人、C-2人、D-1人）である。実習園からの評価も概ね高い評価を受けており、実習を重ねる毎に学生の課題が克服されているようである。科目内での課題の提出や教材研究の実践を含めて教育目標は達成することができていると考えられる。 また、図書館利用やシラバスの活用も通常科目よりも多くなされており、学生が自ら学ぶ意欲や実習に向けて真摯に取り組む態度が育まれている。一方で、授業に向けての準備や事後の振り返りが必要な科目であったにもかかわらず、「0回」の学生が多くいることから、次年度以降の働きかけを考えていきたい。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	幼稚園教諭免許状取得のための必須科目であり、実習に必要となる計画を立てているため、学生の受講意欲は高いと考えられる。また、DPを達成することができる様、他の科目との連携や学習の連続性を考慮しているため、内容的妥当性については問題ないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	昨年度の課題であった学生自身が話し合ったり質問したりすることに関する項目は、今回授業の質評価の中では高い得点となっており、改善できたのではないかと考えられる。しかしながら全ての項目について「少しそうでないと思う」と感じている学生も少数ではあるが存在していることから、学生の様子を把握し改善につなげたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えらえる。今後も他の関連する実習との整合性や授業の進捗状況による学生の準備性を意識した授業を展開して行けるように取り組んでいきたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	篠木　賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅱ	2	通年	選択	いいえ	60

2. 観点・DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に〇	〇	〇	〇	〇	〇

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	保育実習の指導を行うための科目であり、保育所の特徴や役割の理解を深めるとともに、保育技術や社会人としてのマナー等を含めた指導と助言を行っている。資格取得に必要な科目のため、受講意欲は高い。保育所実習指導Ⅰから引き続きの科目であり、実習が就職とも関連している要素があり、将来を見据えて実習に取り組めるように指導している。

4. 学生の目標達成状況について

	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均は87.3点（Ｓ－36、Ａ－17、Ｂ－5、Ｃ－2）である。ほとんどの学生がＳまたはＡを取得していることから、目標は達成されたと考えている。また、受講した学生のほとんどは、無事に実習を終えており、保育所の特徴や役割の理解を深めていることから、教育目標を達成していると考えている。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	実習と実習指導はDPの全ての項目と関連しており、学内で受講した科目の知識を総合的に活用し発揮する場である。内容の妥当性は、学生の授業評価アンケートの結果からは判断が難しいが、実習生に対する保育所からの評価から、概ね妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	教育実習指導や保育所実習指導Ⅰとの連携を密にし、2年間を通して学生指導が行えるように内容の精査を重ねていく必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の実習中の様子や事後指導での様子から、実習指導における教育目標は達成できていると感じている。また、実習機関からは多くの学生が良い評価を受けている。今後もこのような質を保つために、細やかな指導が行えるような授業展開を検討していく。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	命婦　恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅲ	2	通年	選択	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	〇	〇	〇	〇	〇

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	施設実習Ⅱのための実習指導であり、通年で事前指導と事後指導が実施される。実習に出るための事前指導も重要であるが、受講学生は2年生であり、事後指導で実習での体験を振り返り、卒業後の実践につなげることにも重点を置いた。

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された	やや達成された

（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	多くの学生到達度の自己評価が高く、受講態度もまじめに取り組んでいた。実習先からの評価も十分であった。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	実習指導は、さまざまな科目により得られた知識と技術を実習で総合的に実践できるように支援するという位置づけであり、すべてのDPに関連する総合的な科目である。そのため、生活全般にわたるような自己課題の設定と振り返りなど、学生自身を見つめ直す機会となるような内容になっている。また、卒業後の進路とも直結する内容であった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	複数の教員が担当している科目であり、教員間の連携が重要となる。また、他の実習指導担当者との連携を図る必要があり、授業外での打ち合わせの時間を確保した。受講生に対しては、実習の重要性やそれに伴う実習指導の重要性を繰り返し伝えて、受講態度の改善を図る工夫をした。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学外での実習を無事に終え、それぞれの施設からの評価も概ね良好であり、実習指導としての目的は概ね達成できていると考えている。また、実習終了後の振り返りで、学生の学びを深めることもできていると考える。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	下山　祥子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期･後期･通年の別	必修･選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育原理	1	後期	必修	いいえ	92

2. 観点･DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に○	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	この科目は、保育を取り巻く社会的課題、現代社会における保育や子育てに関する課題、多様な保育思想、保育方法や形態、現代の保育制度の現状と課題等について理解を深める内容である。保育に関することが広範囲にわたった学習内容であり、保育者として理解しておく事柄が多い。そこで各項目で理解しやすいように、事例を提示したり視聴覚教材を使ったり、大切なポイントを確認する点から授業後にメモを取らせたりして授業を進めていった。　学習の準備性については、1年次は幼稚園、保育所実習がまだ終わっていない時期であるため、保育現場の様子や役割を体験的に理解しにくい状況がある。今後実習を通して理解していくために各課題について準備内容を具体的に知らせていくことを心がけた。また長期の実習では保育者や子どもとのかかわりから「保育の在り方」「保育者の役割」を体験を通して理解していくと思われるので、事前にビデオや事例から協議し合う場をもち、互いに考えあう機会を大切にしている。

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		

（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は、75.1％であった。再試験対象者は3名、欠席が多く受験資格なしは2名であった。理想的レベル（概ね80点以上）に達した学生は35名であり、標準的レベルの学生は52名、再試者を除き合計87名が標準以上のレベルに達している。簿全員が単位の取得はできていることから、学生自身学習に真摯に取り組んでいることが伺えた。また学生による到達度自己評価においても、平均値・中央値とも4.0前後であり、概ね達成できていると考える。よって目標は達成されたと判断できる。　評価の充足率（学生の各得点の平均がどれぐらい科の割合、学生の獲得平均点/満点得点）については、筆記テストが80％、レポート課題が60～70％、となっていて、筆記テストに比べレポートの充足率がやや低くなっている。これはレポート課題についてまとめ方の不足や調べ方が十分に行えていなかったためと思われる。それらは図書館やインターネットの状況の数値を見ても明らかである。また学習量の評価についても、準備や復習などの回数が0～1回がほとんどであった。全体的に自学自習や多くの情報を集めて知識を得るという力量は育っていないという点から、今後の課題と言える。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	前年度の課題であった本科目の実施時期について、今年度は1年後期に開講時期を移動したため、保育所実習1や2年次前期の幼稚園実習1での学びにつながり、早期に各保育施設の理解を深めることにつながったと考える。 本科目は、幼稚園、保育所、さらに子ども園についての保育制度や、内容・方法等の詳細を学習することによって保育施設の役割について理解を深めることとなり、内容的には妥当であったと考える。　また学生自身も保育者として大切な教科であると認識している。各保育施設の役割についてビデオ等を活用して学ぶ機会を持ったが、今後はさらにより興味をもって主体的に学べる工夫が必要であると考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	授業の進め方については、中間・最終のテスト以外は視聴覚教材を活用して学生に理解できるようにしてきた。しかし学生の意見を見ると、大切なところは何度も言ってもらったので分かりやすかったとの意見がある反面、主体的に学べる工夫があればいいと思ったとの意見もある。このことから、授業の在り方についてはテーマを設けて討議する場面や一つの課題から自分なりに調べて発表する場をつくるなど、授業の在り方を工夫する必要がある。 また課題の提示についても授業評価で、何をすればよいか分からなかった、どう取り組めばよいかわからないとある。図書館やインターネット活用が極めて少なかったことは、課題の提示の仕方や予習、復習の在り方を考えていく必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	達成状況を総括すると、学生がレポートなどを通して知見を高め、より深く検討していく姿勢をもてるよう授業の在り方を検討していくことが今後の課題である。授業の中で、毎回講義のテーマとポイントを知らせ、さらに現場で参考となる資料を配布した。このことは配布されたプリントを見返し、またビデオを通して理解したとあげられている。さらに幼稚園・保育園・子ども園に共通して必要な保育方法と保育内容の面から、幼児の発達と教材の在り方を講義のみでなく、実技を通して知らせたことは、学生にとっては印象に残った時間帯であったと思われる。学生に興味をおこさせる授業の在り方を今後も検討していくことが必要である。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	笠　修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会福祉	1	後期	選択	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に○	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	保育士資格取得のための必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業の実施に当たっては、社会福祉がわれわれの生活に密接にかかわるものであることの理解を促すとともに、福祉の専門職である保育士に求められる知識の獲得に向けて、適宜、具体的な事例を用い、現場実践に引き付けて学びを得ることができるよう心掛けた。また授業開始時に小テストを実施し、予習、復習に対する意欲の向上と学習状況の把握につとめた。

4. 学生の目標達成状況について

	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	どちらともいえない	どちらともいえない		どちらともいえない		

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績評価としてS－17名、A－21名、B－26名、C－16名であり、S、A評価を取得した学生が全体の約42%にとどまった。また再試対象者は10名であった。他方、学生による授業評価をみると、「学習達成度の自己評価」では、概ね「まあまあそうだと思う」以上の評価である。しかし、いずれの項目においても3～9名の学生は「そうでないと思う」と評価がなされている。標準的レベルに達しなかった学生や達成度の自己評価において課題を残した点から鑑みて、達成の有無についてはどちらともいえない。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	本科目は、「専門科目」における「保育の本質・目的に関する科目」に位置づけられるもので、福祉系科目の基礎となる科目の一つである。資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。DPでは、学生による授業評価の知識理解の観点での自己評価について回答者90%以上が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。以上のことから内容的妥当性に問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	今年度は、学生が質問しやすい学習環境づくりの一環として、リアクションペーパーの改善を行うとともに、昨年度同様、授業時間内に質問の時間を設けるなどの取り組みを行った。その結果、授業評価アンケートの質問しやすい環境か否かの項目において、回答者の約92%から「わりにそうだと思う」以上の解答を得ることができた。他方、授業理解の促進を目的として関連事項の説明を加えるなどしたが、結びつきにくかったようである。今後は、情報の提示の仕方や説明の方法を見直し、改善を図っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。 今年度は、授業内容の改善や学生が学習しやすい環境づくりに向けた組みを行った。先で述べた課題の改善を含め、今後も授業の質向上を図っていきたい。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	阿南　寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期･後期･通年の別	必修･選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育の心理学Ⅱ	1	後期	選択	いいえ	93

2. 観点･DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に〇	〇	〇	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。 「保育の心理学Ⅰ」（前期）で学修した子どもの発達を踏まえた上で、より実践に即した保育者の援助の仕方について学べるよう配慮している。受講初期は夏期の保育所での自主実習での体験から予測できる事例検討を行い、後期に行われる「教育実習Ⅰ」（幼稚園5日間）を体験した後は、卒業生から出された事例や日誌を基に受講生から出された事例を個別及びグループワークを行いながら検討している。各事例には複数の対応が発表されるが、最後に教員による全体的考察を食わることにより、多様な対応についての保育者の援助の意義について意味づけを行った。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な評価は平均81点（最高点100点、最低点60点、A-17人、B-39人、C-21人、D-13人）である。69%程度の学生がAまたはB評価を取得している。また、授業評価では「到達度自己評価」における「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」が最も高い平均点となっている他、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」や「職業選択の参考になった」と続いていることより、本科目の教育目標がやや達成されたと考えられる。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	本科目は「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置づけられており、幼稚園教諭免許（必修）、保育士資格（選択）の科目である。受講生は両資格またはいずれかの免許・資格の取得を希望する目的があるため、受講の意欲は比較的高く、積極的に授業に臨む姿が見られる。 また、自由記述欄より本科目での学びを実践の場で活かしている学生が複数みられ、まだ未熟ではあるが保育者としての視点の持ち方、援助の仕方などを試行錯誤している様子がうかがえる。 以上の事より、内容的妥当性には問題はないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	演習科目であるため、学生が積極的に考え、話し合い、まとめ、発表する機会を多く設けるように心掛けた。しかしながら、多くの学生が1回以上は全体に意見を述べているものの、数名は全体での発表に抵抗を感じている学生がいる。また、昨年度と同様に授業内の全体的考察などを「全く記述していない」学生が1割程度見られている。再度工夫を重ね、次年度も学生が質問しやすい（発言しやすい）授業展開の方法や時間設定、ポイントを絞った説明などを心掛けるよう改善していきたい。 　また、本科目は2クラスに分けて行っているがクラスによる平均点に開きが見られる。同様に授業を行っているつもりではあるが、今後注意していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。上記の課題を意識しながら、今後も学生の経験に即した授業を展開することができるよう心掛けたい。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	藤田　稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの保健Ⅰ	1	後期	選択	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	本科目は、保育士資格を取得するためには必修であり、本学科はほぼ全員が保育士資格取得を目指して履修しているため、受講動機も「必修」という意識が高く、「必修科目である」が92.6%であった。「こどもの保健」は、本科目から始まり、３期５単位の科目である。その第１段階の科目であるため、基礎的知識の習得としては重要な位置づけである。しかしながら、内容が難解な医学的知識であるため、理解までに時間を要すると思っている。そのため、講義での説明は平易な表現に努め、昨年度の反省を活かし、具体的な事例やイメージしやすい表現を用いることを心がけ、さらに、授業内容を自分のことばでノートを作成することを課し、自然と予習復習に時間を費やすように仕向けた。しかし、「到達度自己評価」を見ると、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の事項に対し１名が「全くそうでないと思う」、２名が「少しそうでないと思う」と回答している。今までにない回答であり、教授内容のレベルは落としていないつもりであるが、不十分な授業内容であったかとも思える記述であり、反省しているところである。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない			

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	達成度評価としての、評価基準に基づく成績評価の平均点は76.2点であり、秀は17名、優は29名、良は17名、可は14名（最終成績は25名）であった。昨年度よりも平均点は低くなっており、定期試験の結果も、例年と難易度は変えていないが、通常１００点満点の受講生はいるが、今期は皆無であった。授業評価アンケートの「到達度自己評価」も平均値が3.7～4.1と例年比較して極端に低い。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 本科目は、３期にわたる「こどもの保健」５単位の最初の科目である。そのため、正常な子どもの解剖学生理学的知識と基本的な保育園でおこなう養護技術や衛生管理を取り扱っている。この内容が習得できなければ、次期の「こどもの保健Ⅱ」の授業に影響を及ぼしてします。科目オリエンテーションの時には、カリキュラムマップの該当部分を特に抽出して説明を十分におこなった。カリキュラム上での内容的妥当性はあると思っている。 ②DP、行動目標からみての内容的妥当性 授業アンケート結果によると「到達度自己評価」のうち、「自分なりの目標を達成した」について「少しそうでないと思う」が９名いた。また、「全くそうでないと思う」と回答した受講生がいた項目としては「知識を確認、修正したり、　新たに得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」「自分が学ぼうとしてる専門分野で必要となる技術を身につけることができた」「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」であった。この項目と該当ＤＰを照合すると、必ずしも内容的妥当性があったとは言い難い。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	今年度も、シラバスに、具体的な教科書ページを記載し予習に充てるよう指導してきた。その効果か、授業を履修するにあたりシラバスの記載を参考にしている学生が多くいた。また、授業内容が難解であるため、できる限り専門用語を用いないよう、具体的およびイメージしやすいことばを選び授業をおこなった。しかし、授業アンケートの結果は、「説明は理解し易いものであった」平均値4.2で昨年度と変わらなかったが、２名「全くそうでないと思う」と回答しており、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」昨年度平均値は4.2であったが今期は4.0に下がっているうえ、「全くそうでないと思う」と回答した受講生が２名いた。明らかに昨年度と比較して授業に対して不満を感じている者がいることが明らかである。教授内容をもう一度精査し、より理解し易い内容・説明に努めるよう努力していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	自由記載によると「とてもためになる」「分かりやすく面白い授業だった」「実習で役に立つことも多くためになった」「将来薬はおｙになるためにも勉強になりました」「分からないと質問した時に、わかるまで教えてくれた」という回答を得た。また、「一番疲れる授業だったと思います。いつも熱心なご指導ありがとうございました。」と回答してくれた受講生もいた。負担減は、あまりできなかったようであるが、概ね学生自身の学びとして身につけてくれたのではないかと思っている。しかしながら、今期は、昨年度の課題を改善しようと試みた割には、反対に評価が落ちている現状がある。受講生のニーズをもう一度確認し、教授内容を見直していきたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	村上　里絵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育・教育課程論	1	後期	選択	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に○	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	出来る限り保育現場の具体的事例を挙げて、「保育課程・教育課程」をイメージし、関心がもてるように講義してきたが、今回の受講動機を見ると、「必須科目である」が95.1%、「資格取得に必要である」が39.0%と２つの数値に差があること、と「関心のある内容である」が3.7%でありかなり低い数値であることから、学生の保育理論に対する関心の低さがうかがえる。実習に行った幼稚園・保育所・認定こども園での目の前にいる実際の子どもの姿と、保育課程・教育課程及び指導計画とが結びつくことができるように、実習に関する科目を持つ教員とも連携を図りたい。

4. 学生の目標達成状況について

	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	やや達成された				やや達成された	やや達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は、80.1点であり、再試験対象者は存在しなかった。全員が標準的レベルに達したが、この成績には、出席点と授業貢献度点がそれぞれ10%ずつ含まれている。レポート（指導計画作成）のみの成績においては、理想的レベル（80点以上）に達した者は、10名とまだまだ限られていた。来年度は、全体的レベルが上げられるように授業及び宿題などの課題提示に一層の工夫と努力をしたい。今年度の目標達成については、全体的にやや達成されたと思われる。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	①ＣＰ　カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 必須科目であり、資格取得に必要な科目にある為の受講であり、動機づけに苦慮する面でもある。この課題に応えられるように授業内容の工夫をした。学生一人ひとりが主体的に調べ、順序立てて思考し、レポート（指導計画）を提出し一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考える。 ②ＤＰ　行動目標からみての内容的妥当性 今年度は、保育の大切な骨子である「保育・教育課程」の理論と意味を会得するまでには至らなかったが、成績評価をみて可能性を示している点では、内容的には妥当であったと考えたい。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ ｢授業の質の評価｣｢学習量の評価｣｢学修のための情報利用｣｢図書館，インターネット利用｣学生の意見など	学生の意見として、「とてもわかりやすく実践で使えることばかりで助かりました。」「（保育）現場でのご経験、エピソード等を含めながら授業を進めてくださり、分かりやすく非常に記憶の中に残っています。」など、保育現場における具体的事例の提示が、学生にとって保育理論を理解する上で非常に重要であることが感じられる。今後も事例を提示して、それに検討を加えながら、学生自身が授業に主体的に参加し、学べるよう促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	基礎的知識の形成については、概ね達成できたが、その枠組みを使い、より思考を深め、拡げ、判断していけるよう、「指導計画」との結びつきの強い科目を担当する教員と連携して、より理解が深まるようにしていきたい。また、図書館利用や予習復習などの自己学習をする時間をとれるように、課題の提示などで改善を図りたい。以上から、毎回のねらいを具体的に示すこと、可能な限り考える時間を作ること、更に８コマ目に確認テストを行い、学生の授業復習への意識を高め、学習状況を確認するようにしたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	岩田　美穂子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容「環境」	1	後期	選択	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	幼稚園教諭免許及び保育士資格取得のための必修科目である。そのため、保育科1年生全員が登録、受講していた。①授業の内容を出来るだけ具体的な事柄から体験的に学んでいくように計画した。②1年次後期のため、まだ実習を経験していない時期は、出来るだけ保育の実際の映像や資料を提示して理解が深まるように配慮した。③学内での自然観察の学びを取り入れ。身近な自然環境への興味と理解のための保育実践の在り方を学べるように配慮した。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				やや達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は74.5点であり、受験した学生の内、再試対象者は０名であった。受講生92名の内、１７名は標準的レベル（小テスト及び提出物、発表の評価合計を70点以下と設定）に達しなかった。一方、理想的レベル（80点以上と設定）に達した学生は、23名であった。学生の到達度評価では、(1)自分なりの目標を達成したという項目で92名中3名が少しそうでないと思うと答えて残念な思いを表している。自由記述の中に「課題の説明をもう少し明確にしてほしかった」という意見が一件あり、教員の丁寧な対応が行き届いていなかった点が反省される。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	DP.CPカリキュラムマップにおける本科目の位置付けから見た内容的妥当性の評価について、本科目は卒業必修ではないが、幼稚園教諭免許及び保育士資格取得のための必修科目である。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。課題に関する説明がわかりにくいというコメントがあったので、この点反省し、学生の立場に立ってわかりやすい説明を心がげていくことが大切であると考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	授業の進め方について、学習量の評価について、課題以外に学習に取り組んでいない理由が、時間がなかったためや他科目が忙しかったなどがある。授業中に、持参すべき教科書や参考文献などを用意していない学生が少なからず見られ、授業を進めにくいことがあった。今年度は出席シートの記入を学生各自が授業の最後に行い、次週に準備するものや課題を明記することとしたが、良く忘れる学生はその点が行き届いておらず、もっと個別に点検することを行い、習慣化するように指導すべきであったと反省している。提出物返却が成績発表後になることもあり、早めに返却して学生の振り返りの学びに役立てるべきであったと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	1年次の段階では、おおむね妥当であると考えるが、開講時期が後期なので、季節的に自然観察や飼育栽培に関する具体的な教材が得られにくいし、学生の実体験がしにくい、授業担当者に関わらず本科目は保育科学生にとって1年次前期での開講が望ましいと考える。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	下山　祥子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容「言葉」	1	後期	選択	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に〇	〇	×	×	×	〇

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	①教育実習前の授業であるため、教材作りに重点をおき、年齢に応じたものであるか、工夫点があるかなどについて協議を図りながら授業を進めていった。また発表にあたっては、子どもへの語りかけの工夫、興味・関心を示すための教材発表の配慮事項など、保育の場を想定して具体的に理解できるように授業を行った。この授業では、教材作りやグループ発表を通して協同的精神を身につけてほしいと願って授業を行った。 ②受講動機を見ると「必修科目である」が78.7%、「資格取得に必要である」が40%であった。「関心のある内容である」が2.7%と低いパーセントになっている。将来保育に携わるものとして、この教科がより興味・関心を示し、必要性のある教科として捉えて欲しいと願わざるを得ない。 ③毎回授業のめあてを明確にするため、テーマと内容を記して配布した。授業方法として保育の場で必要なコミュニケーション力や表現力を高めて欲しいと願って授業方法を工夫したが、今後は内容面でもより工夫して取り組む必要があると感じた。 ④保育現場での体験談を聞くことや必要な知識を身につけることができたとあるが、学生にとっては保育現場の様子を知りたいという思いが強い。そのためには授業方法もより工夫する必要がある。

4. 学生の目標達成状況について

	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	やや達成された	やや達成された				やや達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は、80.7点であった。欠席が多く受験資格なしは2名、再試験対象者は0名であった。理想的レベルに達した学生は53名であり、標準的レベルの学生は37名である。合計90名の学生は標準以上のレベルに達している。ほぼ全員が単位の取得ができていることから、やや達成されているといえるであろう。目標別にみると、専門分野として保育に必要な基礎技能を身につける技能・表現については55.3%程度である。工夫性や関心の度合いは保育をしていくうえで必要と理解しているが、表現やコミ　ュニケーション力がやや乏しいように感じる。 目標別の知識理解については、57%程度である。幼児教育の基本的内容だけにビデオや資料を配布したり、事例を出したりして授業を進めていったが、まだ不十分であり今後の課題と言える。また各自が予習・復習を十分にできなかったことは、具体的に理解させていくことが不十分であり、そのことが今後の課題と言える。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容の妥当性 本科目は選択科目であるが、幼児教育現場で必要と理解し、実技を伴う教科であるため、受講する学生は多い。現場に役立つ教科であり内容的には妥当である。 ②DP、行動目標から見ての内容的妥当性 この観点では「自分なりの目標を達成した」点で、③まあまあそうだと思う　④わりにそうだと思う　⑤かなりそうだと思う　と答えた学生が95.2%であった。技能・表現の点では授業方法や発表方法に工夫した結果であり、内容的には妥当であったと考える。　　　　以上の点から内容的妥当性については、問題がないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価ではどの項目も平均値が3.7点である。その中で「説明は理解しやすかった」については「わりにそうだと思う」「まあまあそうだと思う」が多く占められている。授業を進めるうえでこの項目は大切な点であるので、今後も視聴覚教材等を活用して工夫することが大事である。また「評価基準は明らかであったか」については、「わりにそうだと思う」が多く占められている。これは随時説明をしていったためと思われる。毎回授業のテーマと内容については示していたが、毎回の予復習はあまりとっていないことが示されている。これは準備内容が明確に伝わっていないことが原因ではないかと考える。　次年度に向けては、①保育現場を想定して、実践の機会をより多く与えていく。②理論面については、事例を提示してより分かりやすく説明していく。③評価方法を明確にしていくために具体的に説明していく　などがあげられる。今後も授業方法と内容を工夫していくことが必要である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	現場で求められている教材研究と子どもの前で行う教材発表を主として行ってきた。学習量の評価について、学生はグループによる教材作り、年齢に応じた絵本選びと絵本読みを希望していることがあげられている。授業内容と方法について興味をもって取り組むことが必要であるので、手を使う活動、体を使う活動、想像して話を作る活動を多くしていくことが必要である。学生の様子から全体の前で発表する経験が少なく苦手な様子が見られるので、見たり聞いたり演じたり、互いに発表し合う経験を多くする必要があると感じている。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	命婦　恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
障がい児保育Ⅰ	1	後期	選択	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	障がい児についての講義科目であり、障がい児について授業で学ぶことは初めての学生がほとんどであることから、基本的な知識を広く身につけることを授業の目標とした。様々な障害を持つ子供たちの特徴とその保育の特徴についての学びの入り口となるよう、講義内容や教科書の選定、参考図書の紹介などに配慮した。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	達成度自己評価項目に対して、ほとんどの学生が「まあそうだと思う」以上の評価をしており、ほとんどの学生が手ごたえをもって受講していた様子がうかがえる。成績評価の平均値は82点で、充分に目標に到達していることがうかがえる。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップにおける位置づけは、一般的な保育・幼児教育についての学びと並行して、障がい児についての知識を身につけ、演習科目である「障害児保育Ⅱ」へとつなげるものである。成績評価と学生の自己評価から多くの学生が基本的な知識を身につけることができたと評価できることから、内容的な妥当性があると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	授業の中で、グループ学習と発表を取り入れ、学生の自主的な学びとプレゼンテーションのスキル向上も考慮しているが、図書館利用したと回答している学生が27%であり、グループ内で学習量に偏りがあることがうかがわれる。それぞれの学生が自主的な学びのためのスキルを身に着けられるような工夫が必要であると感じ

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	多くの学生が授業目標を達成しており、授業内容も妥当と考えられる。今後の課題としては、グループ学習の中で、学生のコミットメントに偏りがあり、充分に学習を深めたり学習スキルを身に着けられていない学生がいるかもしれないことから、そのような学生の参加を促進するための工夫が必要である。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	北野　久美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
乳児保育Ⅰ	1	後期	選択	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に〇	〇	〇	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	重点：現場を持つ外部講師として、”現場力”を示す機会ともとらえている。実践の際に留意すべき項目を盛り込みながら、現場の実際の理解促進に努めた。子どもの姿や保育士の応答等録画したものを検討材料にしたり現場で活用している手作りおもちゃ等を作成することで実践力がつくよう配慮した。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	教科書を中心にしてステップごとに進む中、実態に基づいた解説を入れた結果として、おおむねの理解は得ることができた。しかし、乳児保育は、理論に加え経験や現場訓練が必要な科目だけに、基礎的事項についての関心を持つことが最大の目標である。試験結果に加え自由記述でもかなりの理解を得られていると評価したい

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	DP2における評価では、おおむね達成。内容的妥当性に問題はないと判断する

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	講義室の環境から、スクール形式が中心となりまたPC環境も整っていないためパワポ資料を駆使できないため、テキストや資料中心の講義となる。しかし具体的な姿を提示し、解説することで考える、追体験するといった内容は達成できている。乳児への対応は、ネットでの知識よりもいかに実態を把握することが重要であるかが鍵となるので、乳児の特性を十分につかめるように事例等を活用してきた

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	総括：乳児保育の基本は乳児の成長発達理解にとどまらず、即戦力や判断力、応答的な対応、寄り添うといった資質に大きく関係する事柄も多い。温かみのある醸し出す雰囲気にゆとりがあることも重要であることから、実例を挙げつつ理解促進を図ってきた。即時対応も必要であることからRPも取り入れてきたが理解も深まったといえる。今後もこの状況を踏まえて、実例、事例、演習を取り入れていきたい。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	東　彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教保育	1	後期	必修	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
該当に○	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	本学のキリスト教の特色を生かした必修科目であるが、受講前はほとんどの学生が関心がない。 そこで、以下の３点において、キリスト教に関心のない学生でも興味をもって取り組んで行けるよう工夫した。 ①キリスト教と保育の関係性について明確にすること ②「感恩奉仕」の精神を生かした学びとして「世界の子どもたち」について調査し発表すること ③キリスト教学で学んだことのある聖書の物語を実際に演じてみること。 ②③は学生自らが主体的に学ぶ訓練として導入し、「世界の子ども」の発表によって視野を広げ、「聖書の物語の劇」を創作することにより、監督を中心にシナリオを製作するなど、保育現場でも生かして行ける内容を工夫した。

4. 学生の目標達成状況について

	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	やや達成された	やや達成された				やや達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績(トータルの成績，行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差，S，A，B，C，Dの度数)，独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	到達度の自己評価①じぶんなりの目標を達成した（3.6）、②知識を確認、修正したり、新たに得ることができた（3.6）、⑦専門分野で必要となる技術をみに付ける事ができた(3.6)、⑧コミュニケーション力や表現力を高めることができた(3.7)、などからわかるように、教育目標はやや達成されたと言える。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	本学のキリスト教の精神に基づき専門科目の「保育」を学んでいくという、ユニークな科目である。教養教育との違いが心配されたが、到達度の自己評価の中の専門分野に触れる質問に関し、平均値が3.6であり、職業倫理や行動規範を学ぶ事ができた、職業選択の参考になったという部分についても平均値がすべて3.6であったことから、内容的に妥当であったと言える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	「世界の子どもたち」の調査・発表を取り入れたこと、「聖書の劇」を取り入れたことは、学生が参加する機会が作られていた（3.8）からもわかるように、講義と演習とのバランスは妥当であったと考えられる。昨年より、劇を組み立てる時間を多く確保したため、今年度は発表の振り返りまでできたことは良い成果であった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本学独自の科目であり、他大学の保育科との違いを明確に出す必要がある。毎回の学びがキリスト教つまり本学の「感恩奉仕」にいかにつながっているかを意識しながら展開できるように、科目に関心のない学生に対しても関心を引き起こすことができるような工夫を行なっていきたい。 「世界のこどもたち」の学びは、多くの学生の関心が集まるテーマである。キリスト教保育は必然的に世界に目をむけていくような観点を含んでいるため、この点を活かしつつ、今後も学生たちの関心を汲み取りつつ展開していきたい。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	末成　妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども音楽療育概論	1	後期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	①音楽を通して、心身に何らかの障がいのあるこどもたちの発達的援助を行うこども音楽療育士の資格認定のための基礎となる科目であり、本年度初めて立ち上げられた教科ということで85%の学生が資格習得に意欲を持ち科目内容に高い関心を示していた。本科目と来年度開講される「こども音楽療育演習」、「こども音楽療育実習」を合わせて資格認定となるため、心身の発達過程と音楽的発達との関係、音楽と遊びとの関係、障がいによる援助の方法の違いについて具体的な事例を織り交ぜながら、最新の障害への考え方などの情報を十分に加味して講義を行った。 ②開講時すでに障がいへの認識に大きな差があり、家族や身近な人に障がいを抱えている者もいる反面、障がいを意識しないで過ごしてきた学生もいて最近の書物からなるべく障害者自身の声が反映されているものを選び紹介した。この課題が、授業の根幹をなす音楽療育の意義につなげられたと考える。　③授業では学生の意見を聞き、レポートの添削を通して学生一人ひとりへの助言ができて次の演習への意欲向上につなげられたと考える。　④障がいを持つこどもへの音楽的はたらきかけについて実際に私が行ってきた映像を見せたが、それを自分なりに分析しまなびにつなげるという段階には至らなかった学生もいた。映像を使う際の編集、解説、考察のグループ討議などにゆとりを持たせた授業計画が必要だったと反省する。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				やや達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	①最終的な成績の平均点は７９点で再試験対象者は０人であった。学習到達度の自己評価では自分なりの目標を達成した学生が、わりにそう思う、かなりそう思うを合わせると５２％、まあそう思うを合わせると全員になるので資格習得に向けて目標を達成した手ごたえを持ったと考える。特に学びを深めたいと意欲を持った学生はわりにそう思うとかなりそう思うを合わせると６２％になりそう思わない学生が０人だったことは、大変深く関心を持ち積極的に授業に臨んで学生の影響が大きいと考える。 ②受講者の中には身近な存在に障がいのある方がいて、彼女らの前向きな取り組みが授業全体をよい方向へ進めたと考える。ただし、６０％の学生が配布された印刷物に授業の記録を取り、自分なりのノートを作った学生が少なかったのは振り返りのときの支障になるので早い時期に啓発する必要があった。　③図書館の利用が１割に過ぎず、手元の携帯スマホなどで検索する姿を見かける中で、著わした人物が名前をきちんと出して責任を持って述べている、書籍として発行されている活字への信頼をこれからも学生に伝えていきたいと考えた。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	①受講動機を見ると、資格習得に必要である科目だが、同時に関心のある内容であるからという回答が５０％を示していた。それゆえ受講態度は積極的でお互いの発表をよく聞き合う良好な雰囲気が維持された。 ②しかし自由記述にあるように、授業以外の課題への取り組みは、時間がないという理由で手薄であったことは今後の課題である。関連の書物を読むなどもすべて宿題であったがために行ったので、後期の演習に向けてはさらなる積極的な態度が望まれる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	①自分が学ぼうとする分野の課題の検討力、学びを深めたいという意欲、職業選択の際の参考の３項目について3，8という数値があったので4という値には届かなかったものの概ね理解できる適正な内容の授業を展開できたのではないかと考える。授業終了後に質問に来る学生の中には、特に聴覚障害について関心の深いものがいて、手話や指文字という言葉が一人歩きをして、実態とかけ離れている理解もあり今後の課題が見えてきた。 ②配布物の内容を確認するために、毎回30分の復習を伝えたが、十分になしえなかった学生は課題の提出で後れを取っていた。授業開始時期には教員の声掛けが必要である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「こども音楽療育」という新しい分野に挑戦する学生は、音楽の持つ多様な力が障害のあるこどもにどのように有効かという理論を学んだ。学生は音楽的経験の差があるものの、保育士として日常の保育の中で障害のあるこどもも、そうでないこどもも音楽の力を使って人間的なあたたかい関係を築くという同じ目標に向かって授業に真摯に取り組み、互いの意見をよく認め合った。障害の多様性を知り、一人ひとりに適切なアセスメントを行い、保育士として障害のあるこどもが生きやすく、園生活がすごしやすくなるための援助を行うことを目指して、後期の「こども音楽療育演習」「こども音楽療育実習」へと進んでいけるように研究を重ねたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	冨永　剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの造形あそび	1	後期	選択	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	１、今回 の受講動機をみると「必修科目である」94.8%，「資格取得に必要である」32.5%とそのほとんどが、資格を取得し将来の仕事につなげるといったコースの特色に応じた答えとなっており、そのことから、現場でも通用する実践的な内容となるように心掛け、関心を引きつけるようにしている。 ２、毎回の課題ついて、必ず自分なりの指導案を書くようにしており、そのことで授業での学習が自分が行う子どもへの活動へとつながりやすいように配慮している。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された					やや達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的に再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが，理想的レベルはまだまだ限られていた。　到達度自己評価を見ると、（１）自分なりの目標を達成したが、まあまあそうだと思う35人、わりにそうだと思う35人、かなりそうだと思う12人、平均値3.7となっており、学生自身の評価においても同様に、標準的レベルは達したが，理想的レベルに達しているのは少数と言えるだろう。このことから、標準的な達成度を示すとともに、理想的な達成度をより詳しく、具体的に授業内で伝えていくことを進めていきたい。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	1CP，カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性　本科目は免許・資格取得のための科目にあたり必修である。内容的には妥当であると考えられる。 2DP，行動目標からみての内容的妥当性　学生の授業評価の結果から、行動目標からみておおむね内容的には妥当であったと考える。 3まとめ　以上から，内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において少数ではあるが否定的回答が見受けられた。具体的で分かりやすい説明を心掛けたい。学習量の評価については、課題以外に学習に取り組んでいない理由として、「時間がなかった」という意見が見られた。この学科は免許・資格を取得するコースであり、かつ短大2年間という短い限られた時間であるため、授業、課題、実習等の多くの学習内容が課せられている。その状況の中ではあるが、より効果的に授業の課題以外の学習に取り組めるように、具体的な学習法や目標を示していきたいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	基礎的知識の形成については概ね達成できたが、その応用や理想的な学習内容の習得には課題を残した。上でも述べたが、理想的な達成度をより詳しく、具体的に授業内で伝えていくことを進めていきたい。また、予習・復習課題の授業内での提示方法で改善を図りたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	笠　修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	〇	〇

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	本授業では、「人間関係形成能力」「自己理解・自己管理力」「課題対応能力「キャリアプラング能力」といった保育者・社会人として必要とされる基本的な力を養うため、丁寧な個別対応を行うことを心掛けた。また、学生が主体的に考え、行動できるよう意識的な働きかけを行った。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された				やや達成された	やや達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な評価として、全ての受講生がS評価であった。 他方、学生による授業評価をみると、「学習達成度の自己評価」「授業の質的評価」のすべての項目で92％以上が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。しかし、「学習量の評価」では、授業準備や復習にかんする項目で約92％が1回以下、授業以外の自主的な学習に関する項目で約84％がしていないと評価している。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	本科目は、「専門教育科目」における「総合演習」であり、保育者・社会人としての人間形成を行ううえで基底に位置づけられた必修である。 DPに関して、「到達度自己評価」における態度および「技能表現」を示す項目で、「まあまあそうだと思う」以上の肯定的評価をしている。 以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	授業では、学生が主体的に取り組むことができるよう、可能な限り学生が発言できる機会をつくっている。また、学習への動機づけや健全な学生生活リズムづくりができるよう、個別的なサポートを心掛けた。 他方、学生の自己評価をみると、授業を振り返るための復習や授業の課題以外での学習に関して、多くのが学生が低い評価をつけている。学生の主体的かつ自律的なな学習スタイルの構築を支援していくためにも、さらに意識的な声掛けや個別的サポートを行い、改善を図りたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の評価結果から、本科目の学習目標は全体的にはやや達成できたと考えるが、学生の主体的かつ自律的な学習スタイルの構築という点では課題を残す結果となった。先にも述べたが、本科目は保育者・社会人として必要とされる基本的な力を養うことに主眼をおいている。次年度は、ゼミ運営の方法の見直し、学生個々へのサポートの充実を図などの改善策を講じていきたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	阿南　寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に○	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	本科目は保育科の必修科目である。一年を通して、他者と協働する力や短大生としての基礎的能力を高められるように授業を展開している。テーマごとに目的を明確に伝え、昨年度までの資料を有効に活用して学生が「何をすればよいのか」理解しやすいように配慮した。教員は極力様子を見守り、ゼミ長を中心に学生自身が考え行動できるようにした。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された				やや達成された	やや達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な評価は平均93点（最高点97点、A-13名、B-1名）である。全員がSまたはAを取得しており、目標はほぼ達成されたと考えられる。「到達度自己評価」では、平均値が3.5～4.2の間に留まってはいるが、本科目の目的である「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」では4.2であり、学生自身も目標に近づけたことを意識していると考えられる。しかしながら、講座を設けているにも関わらず図書館等の利用の割合が低いことから、次年度はレポート課題において、客観的資料をもとに作成することができるように働きかけたい。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	本科目は保育科の必修科目であり、学年のうち14名がゼミとして活動する科目である。少人数ではあるが、他者と協働するテーマが多く、中には自分たちで企画・運営することもあるため、対象に応じた準備・実践を行う必要がある。保育に関連する内容も多いため、事前準備から大変さは感じつつも楽しみながら意欲的に受講している姿が見られた。事後の課題検討も含め、DPに示されている「態度」や「技能表現」など、保育者として必要とされる資質の向上にもつながっていると考えられる。 以上の事より、内容的妥当性に問題はないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価は3.5～4.2の間であり、昨年度と比較すると「授業の評価基準」についての項目の値が低かった。予め評価の観点を学生に伝え、学生にとって分かりやすい評価になるように改善を心掛けたい。ただし、「学生が参加する機会」については前年度より値が高くなっている。学生同士の関係性などもあると思うが、次年度も引き続き、お互いが意見を出し合えるような働きかけをしていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標が達成できたと考えられる。「評価」については、適切な範囲で学生が意識できるように説明し、次年度も学生自身が考え、主体的に参加できる授業になるように心掛けていきたい。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	命婦　恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に○	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	学生の受講動機は、必修科目だから履修している学生がほとんどであり、1年生を少人数グループに分け、アドバイザー制度とリンクしながら、学生生活や学習態度についても指導することが授業の目的である。

4. 学生の目標達成状況について

	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	やや達成された				やや達成された	やや達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	学生の到達度の自己評価は概ね高い。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	専門科目への導入科目であり、初年次教育の位置づけである。授業内容は学科で検討されており、妥当な内容であると言える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	少人数グループでの受講を指向しているが、授業を担当する専任教員の人数が制限となり、必ずしも達成できていない。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	授業内容は妥当であり、学生の達成状況も充分であるといえる。10名以下での受講が可能であれば、より細やかな指導やフットワークの良い活動が可能であると考えている。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	篠木　賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	本科目は保育科の必修科目である。2年間の短大での学びの動機づけや保育者・社会人として必要な基本的スキルを身につけるために、学生が主体となって考えられるように工夫した。

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された				達成された	達成された

（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均は91.8点（Ｓ－11、Ｂ－1、C－1）である。ほとんどの学生がＳを取得していることから、目標は達成されたと考えている。授業評価アンケートの結果（コミュニケーション力や表現力を高めることができた4.0ポイント、授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた4.3ポイントなど）から、シラバスにある理想的到達レベルに達し、教育目標は達成されたと考えている。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	本科目は保育科の必修科目である。少人数のゼミ方式で、保育者としての「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」等を段階的に身につけるために、新入生研修でのレクリエーションの企画運営、大学祭での催し物の企画運営などを、学生を主体に行った。対象に合わせた計画を立て、実践したうえで自ら課題を見つけ改善していく姿が見られた。自己評価の達成率も3.9ポイントであったので、内容的に妥当であったと言える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	図書館利用やインターネット使用が約半数の学生のみであったので、今後は全員が主体的に調査に参加できるように促したい。また、教員が提供した活動については積極的に取り組んでいたものの、学生自身が活動を提案する機会が少なかったため、学生自身が主体的に考えることができるようにしていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	他者との協同やその他の取り組み状況をみると、全体的には授業の目的は達成されたと考えられる。しかしながら、個々人については課題が残っていると思われるので、個人面談などを積み重ね、少人数制のゼミの良さを生かせるように検討したい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	藤田　稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	本科目は、卒業必修のため受講動機が全員「必修科目である」であった。受講者数はゼミ単位での開講のため少人数であり、一人ひとりに対峙して進めることができるため、学生にとっても私にとっても充実した授業を展開することができた。特に、レポート作成については、個別で一緒に図書館で調べる、文献を一緒に読む、一緒にレポート本文を書く、といった時間を設けたため、一人ひとりの文章力や関心事項などに触れることができた。また、内容によっては、個人的な指導に徹底させる、ゼミ全体でチーム力、協調性を養う、などと目的に沿った運営を心がけた。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された				達成された	達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	授業アンケートの「到達度自己評価」は、全項目において平均値が4.5～4.7であり、受講生の満足度は十分得られたのではないだろうかと考える。シラバスに基づく評価方法での成績評価も平均91.8点であり、「秀」が9名、「優」が４名であった。このことから、評価基準による評価と受講生自身の自己評価は概ね合致していると考えられる。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	本科目は、初年次教育としての位置づけであるため、カリキュラムマップ上、全ての科目の土台となる科目である。短大２年間の勉学のｓｔａｒｔとして、また、今後社会人としてさらには職業人としての基本的なマナーや一般知識、キャリア開発に必要なスキルの基本を身につける科目として存在する。そのための内容がじっくりと展開できるようになっているが、受講生達は、「到達度自己評価」の項目を見る限り意図通り目標を達成してくれている。ゆえに、ＤＰ，ＣＰ，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容は妥当であったと評価できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	全受講生と個別に図書館において文献検索をおこない、資料の読み込みを行ったため、図書館の利用について、アンケートによると１１名が「利用しなかった」と回答しているが、事実とは異なっている。「学習量の評価」についても自由記載に複数あるように「大学祭の準備」を時間外で自主的におこなっていたため、回答とは異なる。行事への企画運営は、上級生と共に実施し、反対に、初年次教育・キャリア教育の事項については基本的には「個」を大切におこなった。このことが充実感を生んでいると考えるため、今後も、「個」を重点に本科目の運営を行っていきたいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本科目は、ゼミナール方式であるため運営がしやすく、その時その時の受講生の手ごたえを肌で感じ、その都度試行錯誤して授業を展開することができるため、達成度は高い。反対にいうならば、受講生が変われば配慮すべき事項も異なってくるため、今年度は高評価であったが、次年度は、全く同じ方法で通用するとは限らない。その年その年の受講生の対象理解をしっかりと行い、授業運営に励んでいきたい。

リフレクションカード　2016年度後期

学科	保育科
氏名	東　彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
該当に○	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	全キャリア講座が大切にしている、「保育者としての業意識や態度、子どもを総合的に理解しそれに基づく援助を行っていく専門的知識・技能、保護者や地域と連携することのできる調整力」に基づき、学生たちが自己を見つめ将来像を明確にしていく過程において、身につけておくべき基本的なマナーを学ぶこと、また、他者に伝える力を養える内容を取り上げ、プレゼンテーション力を重視して授業を進めた。学生自らが研究テーマを見いだせるよう援助し、教員主導ではなく、学生自らが主体的に進められるよう、配慮した。 大学祭における「親子で作る絵本の部屋」の企画は、計画の時期から学生の主体性が見られ、当日の実施においても、ゼミ長のリーダーシップのもと、よいチームワークを働かせることができた。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された				やや達成された	やや達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	授業評価アンケートの結果より、①自分なりの目標を達成した(3.5)、⑨職業倫理や行動規範について学ぶ事ができた(3.6)、などから、全体として教育目標がやや達成されたと言える。達成の目安の標準レベルである「社会人として、保育者として必要な基本的なマナーがわかる。また、一連の研究プロセスに基づいて課題解決に取り組もうとし、自分の意見を他者に伝えることができる。」に対し、マナーの学びや研究プロセスにおいても、学生が主体的に進めることができ、その成果を他者にわかりやすく表現することができたため、態度についても、やや達成されたと言えよう。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	①ＣＰ，カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 　本科目は社会人基礎力を養う「必修」科目である。グループとして自ら課題を設定し、発表にむけ切磋琢磨しながら、学外の社会の現場を発表の場として設定し、北九州市との共催として実施したことは、学生たちが専門分野の知識を生かし、社会において実践するためには妥当だったと言える。 ②ＤＰ，行動目標からみての内容的妥当性 　到達度自己評価の全てにおいて、平均として3.6ポイントであったことも、本科目の行動目標①②③すべてにおいて、学生自らが到達できたことの現れであり、内容的に妥当であったと言える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においては、平均が3.8ポイントであり、大きな問題はみられないが、学習量において、活動の記録ができていなかったことが課題としてあげられる。記録の取り方について、今後検討する必要がある。また、情報利用や図書館利用についても、最新の情報に触れられるように促す工夫を検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	社会人基礎力を養う位置づけからも、トータルとして、学生の達成度が高かったことは今後につなげていきたいが、個人レベルでは、より細かい指導を必要としている学生もいる。極めの細かい指導を心得、一人ひとりがより積極的に関われるよう、サポートしていきたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	保育科
氏名	篠木　賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅰ	1	通年	選択	いいえ	93

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること，重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し，授業計画にどう活かしたかを，「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は，これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，自由記述の意見など	保育実習の指導を行うための科目であり、保育所の特徴や役割の理解を深めるとともに、保育技術や社会人としてのマナー等を含めた指導と助言を行っている。資格取得に必要な科目のため、受講意欲は高い。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は，該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 ＊根拠として，成績（トータルの成績，行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均は89.9点（Ｓ－65、Ａ－21、Ｂ－4、C－2、放棄－1）である。ほとんどの学生がＳまたはＡを取得していることから、目標は達成されたと考えている。また、受講した学生のほとんどは、無事に実習を終えており、保育所の特徴や役割の理解を深めていることから、教育目標を達成していると考えている。

5. DP，CP，カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP，CP，カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」，自由記述の意見など	実習と実習指導はDPの全ての項目と関連しており、学内で受講した科目の知識を総合的に活用し発揮する場である。内容の妥当性は、学生の授業評価アンケートの結果からは判断が難しいが、実習生に対する保育所からの評価から、概ね妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また，学生からの意見については，必要に応じて，こちらに回答をお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館，インターネット利用」学生の意見など	教育実習指導や保育所実習指導Ⅱ・Ⅲとの連携を密にし、2年間を通して学生指導が行えるように内容の精査を重ねていく必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の実習中の様子や事後指導での様子から、実習指導における教育目標は達成できていると感じている。また、実習機関からは多くの学生が良い評価を受けている。今後もこのような質を保つために、細やかな指導が行えるような授業展開を検討していく。